

わがね



発行 東金商工会議所広報委員会
発行部数 21,640部
〒283-0068 東金市東岩崎1番地5
TEL0475-52-1101/FAX0475-52-1105
<http://www.togane-cci.or.jp/>
✉:info@togane-cci.or.jp



会員の皆さま、明けましておめでとうございます。
平成二十七年の新春を迎え、謹んでお慶び申しあげます。

昨年を振り返りますと、一昨年から手掛けております「徳川家康公来訪四〇〇年記念東金まつり」として、かつて家康公が鷹狩りのためにたくさんの家臣を従え東金を訪れた様子を彷彿とさせる「仮装行列」や札所にみたてた市内のお店を探索しながらスタンプを集める「八十八カ所札所巡り」等の事業を皆さまのご協力のもと実施することができ、たいへん感謝しております。また、東金市においては市制施行六十周年の節目を迎えた年でもあり、山武地域の中核都市としての周囲の期待を再認識いたしました。国内においては「天変地異」という言葉のごとく、台風や記録的な豪雨、御嶽山の噴火等の災害にみまわれました。復旧の進まない地域もありますが、二十七年はそのような災害が起こらないことを願わずにはいられません。そして年末に発足した第三次安倍内閣には強力かつ即効性のある施策を打ち出し、「アベノミクス」の恩恵を今だ感じることのできない私たち中小企業者にも景気回復を実感させてほしいものです。

さて、私が当商工会議所の会頭に就任して四年目に入りました。二十七年は、この東金がより元気になるような施策を講じていさたく考えております。皆さまもご存知のとおり、東金には有形無形の資産や資源、今に伝えられる伝統や文化などがたくさんございます。それらがもつ価値を見直し、有効活用することができれば、東金の特性を活かしたまちづくり、観光施策にも繋がるのではないのでしょうか。一昨年には首都圏中央連絡自動車道、通称圏央道の東金、木更津間開通により、利便性が向上し「千葉県が身近になった」という声も聞いております。圏央道の通る地域間による広域での連携をとり、今までにない活性化策を打ち出すチャンスだと思っております。その施策の中心的役割を東金が担うためにも観光資源の再発見は必要であると考えます。交流人口が増加することによって活気に溢れ、それに応えて必然的に地域も活性化され、結果的に「地方創生」が具現化されるものと確信しております。

また、商工会議所の責務として、経済の構造的変化に直面する事業者へ寄り添って支援し、事業の持続的な発展を図り地域に活力を与える一助を担ってまいります。私どもが活動するにはその方向性等を会員事業所や行政、更には多くの皆さまのご理解、ご協力を得なければ前に進むことができません。「オール東金」の気持ちで邁進してまいります。結びに会員の皆さまのご健康とご多幸をご祈念いたします。

平成二十七年 元旦

東金商工会議所
会頭 古川 秀夫

